

不味公顕彰のあゆみ

I. 不味公百年忌－大正4年、6年

本年は松平不味公（1751-1818）の没後200年という記念の年にあたり、不味公や茶の湯をテーマにしたさまざまな事業が展開されています。

かつて不味公の没後100年（大正6年）の際にも、記念茶会や記念品の制作など、様々な取組みにより不味公の顕彰がなされました。その中の主なものを紹介します。

百年忌大茶会 松平伯爵邸（東京・四谷） 大正4年（1915）4月23日開催

百年忌は大正6年のところ、大正天皇の即位の大典で不味公が従三位に叙されたため大正4年に実施。

- ・書院献茶 ・遺愛品展覧会
- ・明々庵（邸内）…明々庵が松原新之助（原宿）から松平家に献納される。
後年松江市に寄付され、昭和3年に菅田庵近くに再建される。
- ・松荷亭（邸内）主：三井松籟 ・瓢庵（邸内）主：益田鈍翁
- ・安活亭（食堂）主：益田紅艶、平田越々
- ・喫茶去亭（邸内）主：高橋箒庵 ・一方庵（邸内）主：戸田露朝

京都孤篷庵の百年忌 大正6年（1917）5月24日～26日開催

- ・山雲床（濃茶席） ・忘筌（薄茶席）

松江市興雲閣 百年忌（展覧会） 大正6年5月28日～30日開催

松平家から出品（宝物、大名物、中興名物等「雲州蔵帳」の作品を日替で99点展示）
【記念品】

- 楽山焼（5代空味）・染付雲堂写茶碗 ・彫三島茶碗 ・南蛮縄すだれ水指
- ・染付兜巾茄子写香合 ・青織部菊紋写香合 ・伊賀瓢筆耳付写花入
- 八雲塗
- ・松木盆 ・若狭盆（大、小） ・菓子器
- 4代小島漆壺齋 ・瓢つなぎ茶桶



4代小島漆壺齋作
瓢つなぎ茶桶

東京三越 百年忌大展覧 大正6年11月20日～22日開催

不味同好会

松平家や個人蔵の「雲州蔵帳」の作品等、442点を展示。

『松平不味伝』 刊行 大正6年4月24日

松平家編輯部の名をもって刊行された限定本。

上・中・下の三巻からなる和装本。



『松平不味伝』

不昧公顕彰のあゆみ

Ⅱ. 不昧公百五十年忌－昭和41年

本年は松平不昧公（1751-1818）の没後200年という記念の年にあたり、不昧公や茶の湯をテーマにしたさまざまな事業が展開されています。

不昧公の没後150年（昭和41年）の際にも、記念茶会や記念品の制作など、様々な取組みにより不昧公の顕彰がされました。特に、当時の島根県知事で不昧公150年祭協賛会会長を務めた23代田部長右衛門のたいへんな尽力によるものです。

本展では、不昧公150年祭の記念事業の中から主なものを紹介します。

百五十年忌法要 月照寺 昭和41年（1966）10月9日午前10時30分開催

主催 松江市

不昧公顕彰 開館記念特別展 島根県立博物館 昭和41年10月9日～24日開催

主催 島根県、島根県教育委員会

展観内容 雲州蔵帳所載の代表茶道名器77点

国宝 圓悟克勤墨蹟、国宝 蝶手箱、国宝 片輪車手箱、重文 玉潤筆 山市晴嵐図

重文 梁楷筆 李白吟行図、重文 油滴天目茶碗、重美 加賀光悦茶碗 ほか

不昧公展 松江市公会堂 昭和41年10月13日～17日開催

主催 松江市、島根県美術商連盟

展館内用 当地にある不昧公の遺愛品ならびに自作品約100点

【記念品】 俵茶碗 楽山焼（7代空権）、青銅棒の先建水

記念品
青銅棒の先建水



明々庵の再々建 現在の赤山

松平不昧公150年祭茶会 菅田庵、明々庵

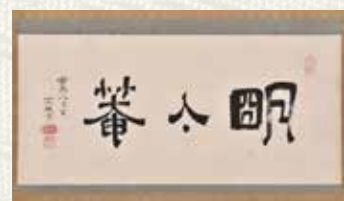
主催 財団法人 松江博物館

後援 五都美術商連合会、大師会、光悦会

会期会場 10月9日、10日 菅田庵・名古屋席 明々庵・大阪席

10月16日、17日 菅田庵・東京席 明々庵・金沢席

10月23日、24日 菅田庵・東京席 明々庵・京都席



松平不昧筆「明々庵」

協賛茶会 月照寺 昭和41年10月18日～21日開催

主催 松江茶道会